

事業報告書

1. 団体名	糸島ば語る会
2. 事業名	万葉の里・植物園 再生計画
3. 実施期間	令和5年6月 ～令和6年2月
4. 事業実績 (日程・人数・会場等)	<ul style="list-style-type: none">・糸島市志摩船越地区から引津湾を間にして「可也山」を詠った万葉集の故事に思いを寄せ、綿積神社境内に万葉集に詠われた植物を植えようと企画し、糸島ば語る会有志による開墾・植栽を行ってきました。 <p>日程としては、糸島市の補助金決定日から準備作業を行い、基本的には月に1回程度の作業としましたが、雑草の生えるのが早く、8月以降は月2回作業を行うことにしました。</p> <p>(月々の作業については、別途「作業実施内容」として添付)</p> <ul style="list-style-type: none">・参加人数については、10名から15名程度で行いました。 <p>尚、公園敷地は地盤が固く、掘削・最初の耕作作業は外注としました。樹木の伐採等は、機械・工具を使う作業に慣れた方をお願いしました。おかげで、会員には無理な作業をさせずに済みました。</p> <p>只、公園内の肥料や防草シートの搬入、機械作業での耕運機や刈払い機などの運搬に軽トラックを借上げることにしました。</p>
5. 事業の成果 (事業計画時の目的、目標に対する成果)	<ul style="list-style-type: none">・万葉の里・植物園 再生計画に関しては、当初考えていた神社境内の内補助金の関係もあり、敷地Eのみの作業としました。 <p>なお、敷地Eは、運動公園であったため地盤が固く、手作業での掘削・開墾が出来ず、業者に依頼することにしました。</p> <p>開墾後は、敷地Eから出てきた石などの取除き作業となりました。</p> <p>次に、苦土石灰散布、堆肥購入から敷均し作業に加え、耕運機での土壌整備を行い、通路には雑草対策のため防草シートを貼り、その上に真砂土を敷き均しながら、花壇と通路の境に石を敷き詰めました。</p> <p>公園としての形が見えてきたのは、11月の作業からでした。</p> <p>当初の目的から若干遅れましたが、万葉の植物公園として形が出来つつ最終目標である植物の採集と植樹は、次年度と考えています。</p> <p>成果については、60～70%程度とと思っています。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・なお、引津校区文化委員会の仲西さんから、共同作業の申し入れがあり喜んでお手伝いして頂いています。 今後、引津校区以外の方にも広く知って頂くための方策を思案中です。
<p>6. 事業実施における課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・この計画は、単年度では完成できないと思います。 只、自然を相手の計画であるため、除草という問題に直面しています。 通路には、防草シートで雑草の対策を行うことで対応し、境内では、毎月の作業時に、一人草刈り担当を設けて作業を進めています。 今後、維持管理をどのように行うか、検討したいと考えます。
<p>7. その後の展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は、植物を植えることに加え「万葉の里・植物園」を維持・管理していくために、外部の方たちに働きかけ協力を仰ぎたいと思います。 現在、Facebookで紹介していますが、糸島新聞にも取材していただき作業状況を紹介したいと考えています。 また、植物が鑑賞に値する頃には冊子等を作成し、地域の皆さんや学校などに紹介することで、万葉公園に足を運んでいただきたいと思っています。

※写真等の活動の様子がわかる資料や作成したチラシ等も添付してください。